
ありがとうと言えるまで

1987

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ありがとうと言えるまで

【コード】

N1992C

【作者名】

1987

【あらすじ】

今の自分の思いを文字にしてみたい。これが私の素直な考え…。
19歳の学生の足踏みです。

私は、専門学生に通っている19歳学生。

あたりまえ。

今私を悩ませる一番聞きたくない言葉。

親に学費を出してもらって、専門学校に通えてる。

私が今しないといけないことは、あたりまえのことは、毎日学校に通うこと。

それが今出来ないでいる。

元から無欠席を目指すような子ではなかったが、こんなに学校に通うことが出来ない自分がすごく嫌だ。

勉強も嫌いでは無いし、学校には友達がいる。

学校に行つて、『体調が悪いの?』と聞かれてもかえす言葉が見つからない。

『何か悩んでるなら相談のるよ。』友達や先生の優しい言葉。胸に突き刺さる。

相談できるわけがない。自分自身が何に悩んでるかが分からないのだから。

欠席するためには、何か理由が必要。

確かにそれがあたりまえの考えだろう。

だから前は、理由を考えて、言い訳してた。

今思いつく言い訳は、自分を甘やかすものばかり。

それが、自分で分かるから口になんて出せない。

例えば：友達が、体調が悪いのに頑張つて学校に来るのを見たり、

将来のために頑張る姿を見ると、私はダメな人間と言われている気がする。

そんなの言い訳でもない。ただの弱音だ。

家に引きこもっているわけではない。

学校を休むくせに、バイトは行くし、地元の子と遊びに行っている。矛盾だらけの生活。

単に自分がだらけてしまったといった方が正しい。

答えが分かっているのに、道は見えているのに進もうとしないのである。

アルバイトの存在は私にとつたら、とてもとても大きい。

『バイトやめて学校を真面目に行きなさい。』親はそお私に言いたいだろう。

現にバイトを辞めると、何度か言われている。

その気持ちは理解できるし、言われて当然だ。

親の考えなんて分かっている。

家では親に甘えて、学校では人の優しさに甘えた生活。

この生活から抜け出したい。

当たり前といわれるものから逃れようとしてる私に、自立の道は歩めるのか。

すぐく試してみたくなった。

大人になりきれない私を、自分で大人にさせる。

挫折を繰り返すだろう。

後悔することもあるだろう。

甘えた生活から抜け出せた時、感謝の気持ちで心がいっぱいになると思う。

その時は、自分の想いを思ったまま言葉にして言いたい、伝えたい。
きつと一言目は……『ありがとう。』

(後書き)

この作品の続きを書いていきたいと考えています…。

呼んでいただいた方：ありがとうございます。

素直な感想を是非聞かせてください。

お願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1992c/>

ありがとうと言えるまで

2010年10月21日23時26分発行